



こんにちは

# 村田 けい子

です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。  
移動事務所 090-9144-

2020.1.17  
№234

発行/日 853産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267 (56)  
2868

## 用水路補修の応急工事費 1.23の臨時議会で補正予算組まれる！

1.15議会全員協議会

今年初めての議会全員協議会が開かれ、今後の取り組みの様子が報告されました。用水を分配するための頭首工や用水路等の応急工事のため、400万円が組まれています。来年の作付けに間に合うように、すでに国・県の行政と土地改良区などの責任によるものは、始まっていますが、今回の対象は、どことも決まらない箇所を町が責任をもって復旧する予算だということです。



破壊された用水路

頭首工:12箇所あたり15万円 約200万円  
用水路等 28箇所各10m分 計200万円

### 第2牧場、クロスカンントリーコースの修復工事

前回抜本的な見直しが必要だということで来年度以降に先送りの予定だったクロスカンントリーコースの復旧工事も予算化。泥流に洗われ洗堀されたコースの凸凹を直し、新たに「クレイ舗装」を施し、路側溝を強化して水を流す暗渠排水工事も施すとのこと。ストック用の山砂も購入予定。 770万円

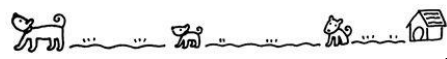
### 梨の木橋 復旧工事 下部工をまず予算化



擁壁が流され、落下した梨の木橋(桐原)

すでに測量・設計費は12月補正で予算化されていますが、今回は新たに、橋の下部工事着手することにして、不足分400万円を補正します。工事は、町道2路線と河川2か所を含め、5800万円の予定。下部工だけで約2,000万円のみ込み。

橋の上部は来年度以降に実施予定。



### 霧氷の花



冷え込みの強い朝、集落も朝霧に包まれ別世界です。庭の紫式部の枝に白い花が咲いています。緑の葉も白い氷で縁取られ、お花のようです。息を吐いてみると白くなりません。空気が澄んで核になる不純物が無いのです。冬も美しい立科です。



さあ、いよいよ  
一日がスタート！

今週のパチ

早朝、東の空から、放射状の雲！今年はオリンピックイヤー。昨年は遅霜や台風による被害などがあり、町中で被害が出ました。私も足にけがをするなどして、“老化”を実感する年でした。新しい年の始まりにふさわしい幸先の良い瑞雲です。  
「今年はきっと、良い年になる」と予感させる光景でした。





恒例の消防出初式が権現山の室内ゲートボール場で行われ、厳粛な中にも、地域を守るという若者たちの気概に満ちた式典でした。最後は各分隊ごとの行進。トップは保育園児による幼年消防隊。おそろいの法被を着て、ラッパ隊の演奏に合わせてきびきびと行進。盛んにフラッシュがたかかれていました。地域の消防団・消防自動車が続き頼もしいこと。皆さん、今年もよろしくお願いいたします。



## 盛大に2020年度、日本共産党佐久地域の旗開き 「安倍政権を退陣に追い込み、野党連合政権を作るために力を合わせましょう。」社民党佐久総支部事務局長

出初式の午後、佐久市で共産党の佐久地域の旗開き「新春の集い」が行われ私も参加しました。来賓には、まず、社民党佐久総支部事務局長の清水さんがごあいさつ。「立憲主義、民主主義をないがしろにしている安倍政権を退陣に追い込むため、力を合わせよう。自民党に突如鞍替えした井出庸生氏。現在長野3区の衆議院予定候補を野党で協議中です。自民党を追い落とそう」と激を飛ばしました。「9条の会」「民主商工会」「新日本婦人の会」のみなさんより、消費税10%で営業・暮らしが大変、安倍政権退陣へ力を合わせましょうと力強い連帯の挨拶。杉尾秀也氏・羽田雄一郎氏よりメッセージが寄せられました。



武田良介 参議院議員

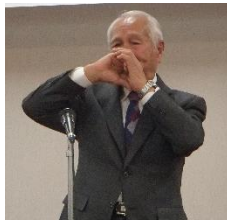
「長野市長沼に共産党の救援センターがあり、私も参加しました。全国からボランティアがここに集まって住居の片付け・泥出し・リンゴ畑の泥かき、リンゴもぎなどに頑張っています。

『センターを作って救援活動ができるのは共産党だけ』と他党の議員から羨まれました。素晴らしい活動ができるのも全国に共産党の支部があるからです。誇りに思います。私も現地で聞き取った内容を直ちに制度の改善や新設などに生かします。」

実のお兄さんがシベリアに抑留されて「岸壁の母」の唄は、自分の母の思いと涙ぐみながら熱唱された。「戦争は絶対にいけない。平和のためにがんばります。」と平和への思いを語られました。



わたしもフルートで参加。「銀色の道」「枯葉」「シクラメンの香り」を演奏



指笛の後は、なんと鼻笛!



武田議員と2ショット!

社民党佐久総支部事務局長  
清水清利さん  
「衆議院長野3区の候補者を協議中です。自民党を追い落としましょう」



オープニング演奏はハープ。天上の音楽、妙なる調べにうっとり



佐久市の合唱団 佐久ラブ&ピースの皆さん。素晴らしいハーモニーをご披露され、会場が盛り上がりました。



# 【立科町の概要】

## ①名称の由来

芦田村・横鳥村および三都和村は蓼科山麓に発達した地方であり、関係村で組織する連合体にすべて蓼科の名を冠して住民感情の融和を図ってきていました。また、三カ村組合立蓼科高等学校があったことから、住民のほとんどが新村名「蓼科村」は既定のことと認めていました。しかし、当用漢字に「蓼」の字がないことと、蓼科山は古代立科山と呼ばれていたことから「立科村」に異議なく決定されました。その後町制施行により「立科町」となりました。

## ②町の概要

立科町は長野県の東部北佐久郡の南は茅野市に境を接し、東西9.9キロメートル、南北26.4キロメートルと南北に長い町で、周囲は78.2キロメートル、面積は66.87平方キロメートルです。

北部では、稲作を中心としてりんご・高原野菜・畜産(肉用牛・肉豚)などの農業が盛んで、南部の高原地帯は、蓼科山(標高2,531メートル)の北西に女神湖・白樺湖・蓼科牧場を有する一大リゾート地で四季折々の自然の恵みを満喫することができます。立科町は、歴史と未来・環境と生活が美しく調和する町、情緒を大切にしながらも進取の気持ちで未来を拓く「人と自然が輝く町」を目指し躍進しています。

## ③気象

西端に位置し、東は佐久市、北は東御市、西は小県郡長和町、1月の平均気温がマイナス2.2度、8月の平均気温が22.8度で年平均気温は10.1度。年較差も日較差も大きく、四季の変化に富んだ冷涼な高原の気候を有しています。

そして最も特徴的なのが降水量。年間降水量は1,040.8ミリと、これは雨の少ない長野県の中でも際立って少ないもので、立科町は全国的にも屈指の寡雨の町だと言えます。晴天率が高く、日照時間(2,089.5時間)が長いことも特徴です。

※気象庁平年値

## 町花／町木／町鳥



### 町のデータ11月 11月1日～11月30日の状況

人口 12月1日現在(11月30日届出まで) ( )内は前月比  
人口 7,026 ( -19)

出生 1男 3,506 ( -9)	死亡 8
女 3,520 ( -10)	転入 10
世帯数 2,831 ( -1)	転出 22

\* 気象 今年 平年値 気温 平均 6.5℃ 5.9℃  
最高極日 21.1℃/18日 23.7℃/H21  
最低極日 -5.1℃/29日 -10.9℃/H28  
降水量 16.5mm 48.1mm

降水量(1月～) 1178.5mm 1014.3mm  
日照時間 184.2時間 160.4時間